

第5回 異業種交流会

サービス委員会 委員長 森中一郎

<開催日時>平成22年11月15日(月)

13:30~16:00

<開催場所>サニーストンホテル別館3F

参加企業40社 参加者総数52名と多数のご参加をいただき第5回異業種交流会は始まりました。

前半はセミナー「銀行格付の仕組みと人・もの・カネの高回転率経営」について、高木理事からの『吹田にぎわい観光協会』のご案内をはさみ、後半は参加者の皆様による名刺交換会が行われました。



お一人お一人とゆっくりとお話して頂く時間がとれ、初参加の会員様も含め各社の交流も、尚一層深まったと思います。また、会場では地元吹田の名産品『吹田くわい』を使った新しい特産品『吹田くわい焼酎芽吹』の即売会も行われ、あっという間に完売となりました。次回の異業種交流会も、是非多数でご参加ください。また、この会に対してのご意見もどンドン事務局にお寄せください。

『銀行格付の仕組みと人・もの・カネの高回転率経営』セミナー要旨

- 銀行の貸出金利、基準、保証協会の保証料なども『格付』によって決定される。



- 『格付』が良くなる事は、銀行取引に有利になるだけでなく、経営効率が高い会社を意味する。
- 『高格付』の企業は「借入に依存しない企業」＝「会社にお金が残る企業」となる。
- 『格付』は「売上」や「利益」で決まるのではなく、「資金効率」で決まる。
- 無駄な在庫や資産を減らす事、売掛金を回収して減らす事が「資金効率化」の第1歩である。
- 生産性を高める事も重要。
- 「売上」「利益」を追いかけると、必要資金が大きくなってしまう。
- 「小さな資金を効率よく回す」＝「借入が小さくて済む」。そういう会社が「格付」が高い会社。



11月26日「豪雨災害対策に関する講座」開催

地域防災委員会 委員長 渋谷 清明

「ゲリラ豪雨」「内水氾濫」とは何か！ 集中豪雨に対する対策は大丈夫か！ 被害発生時の情報収集の仕組みは！

このような不安や疑問を学ぶ為に講座を開催しました。吹田市の安心安全室と下水道部に協力して頂き、発生のメカニズムや雨水レベルアップ事業など吹田市の対策について分かりやすく説明頂きました。

浸水防止対策として止水板の設置や、又希望者へは土のうを事前配布している、など。事前対策が重要！

又、安心安全室からは、大災害発生時の情報収

集を含む救助、復旧面での市と江坂企業協議会とで「防災対策協力協定」の締結も視野にいれて今後協力関係を深めていきたいとの話も聞かせていただき、地域防災委員会としてそのような方向に対応できるように活動を進めていきたいものと考えます。



消火器の使い方

広報委員長 荻田 倫也

冬は大気が乾燥して、火災が起こりやすくなります。火の元には、十分注意をしているけど、万一、火災が起こった時、大丈夫ですか。

大きな火災にならないためには、初期消火が大切です。初期消火に、大きな効果があるのが、消火器です。消火器の使い方は、ご存知ですか。

昔、練習したような、してないような、知ってるような、知らないようなということはないですか。

実は、使い方は意外と簡単です。

安全栓を抜く、ノズルを燃えているものに向けて、レバーを握って薬剤を放射する、です。

消火器で消火できるのは、火が天井にかかるくらいまで、それを越えるようなら、消火を止めて避難路を確保しましょう。

また、家庭での火災原因のトップ、天ぷらを揚げている時の、出火は、直接、炎に消火薬をかけるのではなく、炎の周りを覆うようかけましょう。

でも、一番大事なものは、調理中、鍋から離れないこと。離れるなら、火を止めて、離れましょう。

火の用心、火の用心 !!